

会員だより

安野光雅美術館



とんがり帽子の旅人が中世の建物や暮らしの残る田舎町を旅をする。俯瞰で描かれた繊細な線画と柔らかな色調に魅せられて、何度も繰り返し読んだ(見た)「旅の絵本」は私の愛読書である。津和野にある安野光雅の美術館に行ってみたくないとずっと思っていた。

の国々の風景、絵本の原画などが展示されていた。安野光雅はマルチスパーマンで、科学、数学、文学など豊かな知識を色んな分野の絵本に著している。その想像力と獨創性にあふれた作品は子どもだけのものではない。おとなも古き良き時代を懐かしみ、未来への夢を育み楽しむために、彼の絵本を開く。

美術館の中には、木造教室や図書館、ぴかぴかに磨き上げられた板の廊下、それにプラネタリウムもある。黒い窓枠の向こうに白い漆喰の壁と青い空、手元に開いた安野の絵本。広いロビーではゆったりとした時間が流れていく。立ち去りがたくもあつたが、十年來の願いが叶った満足感でいっぱいだった。 S・N

夢の楽園・タヒチ

成田から直行飛行約12時間、タヒチ島首都パペーテのフアア空港に着陸。タラップを降り、久しぶりにのんびりと地上を歩いて空港ビルまで歩きました。遂に私達家族5人

が夢の楽園の島へやって来ました。(タヒチは新婚旅行のメッカ。ほやほやのカップルが周囲に沢山いて羨ましい。)



ホテルまで迎えるバスで約20分、暑い暑いと思いきや、八月末の日本よりずっとさわやかな風が頬をなでました。ホテルからの景色はカレンダーやパンフレットで見た通りの素晴らしい景色で大満足でした。広大な南太平洋に浮かぶフレンチ領ポリネシア。限りなく続く青い島、雄大な山々、おほかたで優しい人々。

ゴージャンがヨーロッパの古い習慣と衰退の現実から逃れるためにタヒチにやってきたのは1891年、43歳の時であった。ここで文明社会に毒され

ずに生きる人々の美しさに目を見張ったという。コペンハーゲン・パリ・ブルターニュ地方など各地を転々とし、最後まで理想の楽園を求め、制作と病と生きる証を見つめる実生活の中で闘い続けた画家である。

ゴージャンが愛した風土と女性像・・・という誘いのフレーズでやってきたタヒチ!! 皆様も一緒に皆様が一緒に観光と海の魅力を味わって下さい。

(槻輪HPに詳しく載っています。ご覧下さい。) S・U



味WAY

レンコンのハンバーグ

レンコンはすりおろして火を通すともちもちの食感です。

材料 すりおろしたレンコン・200g たれ 豚ミンチ・130g 酒・大1 小麦粉、片栗粉 各大匙1 みりん・大1 卵白・1個分 醤油・大1 塩、こしょう少々

作り方

- 1、卵白を軽く泡立てる。
2、すりおろしたレンコン、豚ミンチ、小麦粉、片栗粉、塩、コショウをよく混ぜ合わせる。最後に泡立てた卵白をまぜる。
3、5つ位に分けて小判型にまとめる。
4、テフロンフライパンに並べ中火で両面をきつね色になるまで焼く。
5、たれをからませて出来上がり。

追記:

たまにパイナップル缶詰を利用、出来上がりに実とシロップをかけても美味しいですよ! K・N



英子の折り紙

冬の訪れ

盛夏の季節には木にしっかりとついている葉っぱ雨が降っても風が吹いても落とされまいと、必死でくっついている木の葉 頑張った分だけ体や顔が赤くなり黄色くなりやがて散りゆく

E・H

